



～50対50～

校長 牧 哲史

コロナ禍で、PTA行事等も延期や中止の判断を余儀なくされ、保護者の皆様と会って話すこともなかなか難しい状況です。私から皆様に話しかけるようなつもりで、これからの巻頭言を書いていきたいと思えます。家庭における自分のあり方、保護者としての自分のあり方について考える機会にしてもらえたらうれしいです。



さて、タイトルに書いた50対50。このタイトルで何を考えますか？親は子どもを養っています。懸命に働いて給料をもらい、そのおかげで子どもたちは生活ができます。親には大変お世話になっています。本当にそのとおりです。だから、そのことを考えると、親子の関係を割合で表すと100対0とか、90対10とかになります。いやなりそうです。

でも、本当にそうでしょうか？自分の子どもが生まれたときを振り返ってみましょう。我が子が生まれた瞬間やその知らせを聞いたときの「親になったという喜び」は、たとえようもないくらいの喜びです。私自身もそうでした。ベビーベッドや食器、こいのぼり、ひな人形など買う喜びは、子どもがいるという「親になった」からこそそのものです。買う喜び、買える喜び。小さな手、小さな足、小さな顔、小さな体、それはそれは愛おしいものです。そして、成長するたびに、「初めて歩いた」と言っては親も祖父母も大喜び。「初めてしゃべった」と言っては大喜び。毎回、新発見の連続です。やがて、幼稚園や保育園に入学。入園式や卒園式、運動会や遠足など、何もかもが記念日。そして小学生。それぞれの学年に進み、それぞれの勉強や運動、生活に取り組みます。同じ運動会でも、その子が1年生のときの運動会は1回しかありません。そう考えると、何もかもが記念日になります。仕事から帰って来ると、玄関まで子どもたちが一斉に走って来て、「お帰りなさい。今日は早かったね」と出迎える。いっしょにお風呂に入ったり、いっしょに食事をしたり、今日の出来事を聞いたりなど、絆を築く「ひととき」は明日への元気（活力）のもと。本当に幸せな時間です。また、夜遅く帰ったときの、子どものあどけない寝顔。「私が守らなきゃ」という気になり、「よっしゃ、妻や子どもたちのために、明日からも元気出してがんばらなくっちゃ！」という気持ちにさせてくれました。運動会や持久走大会等で我が子が必死に走る姿を見て、感激のあまり涙ぐむ保護者を見かけることがあります。分かります。その気持ち！

こう考えると、親はなんと、子どもから多くの力や元気や勇気や根気をもらっていることでしょうか。この存在があるから、親として頑張れる。この存在を守るために、いろいろな苦労にも立ち向かえる。苦労を苦労とも思わないで頑張りを通せる。子どもの存在とは、心の中の「心棒」みたいなものかもしれません。かと言って、「甘やかせ」と言うのではありません。やがて独り立ちさせるためには、少しずつ「愛情」という名の「叱咤激励」が年相応に、だんだん必要になります。そのバランスとタイミングが難しいですが・・・。

それでも、見逃してならない視点は、50対50。親は子どものおかげで、親としての喜びを味わい、親としての一生懸命に努め、だから親として成長し、一人前の大人となっていく。「教育」を「共育」と言います。それは、子どもを育てる過程で、親として多くのことを学び、子どもと共に成長するという意味です。

勿論、100対0とか、90対10とかいう、上下関係とか、力関係ではなく、「この子と共に生きよう」「この子と共に成長しよう」という「子どもから学ぶ」「子どもがいるから学べる」という視点が50対50なのだと思うのです。私も連れ合いも子育てを通じて、幼稚園、小学校、中学校、高校と進む中で、同じ「子育て」仲間として多くの方と知り合いました。子ども同士が仲良くなり、次に母親同士が仲良くなり、その関係で父親同士が知り合い、仲良くなっていきました。皆さんもそうだと思います。

「子どもから学ぶ」「子どもがいるから学べる」子育ては大変だと言うけれど、楽しみもとても大きいと思うのです。50対50です。

本年度も教育目標の達成に向け、下記の努力点及び実践事項3点

- 1 確かな学力の育成
- 2 礼儀正しく思いやりの心の育成
- 3 ねばり強い心と体の育成

を挙げ、課題解決のために全職員一丸となって努力して参ります。特に子どもたちの学力向上については、大きな喫緊の課題です。学校と家庭と連携を取りながら進めていきたいと考えます。御支援御協力をよろしくお願ひします。

【学校教育目標】

ふるさと陵南にほこりをもち、心豊かでたくましい子どもの育成

【校訓】

なかよく かしこく たくましく

【確かな学力の育成】

- 1 「できる・分かる」授業の実践
 - ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得・自力解決の場の設定
 - ・ ペア・グループ、全体での意見交流
 - ・ 「読み・書き・計算」の徹底
 - ・ ICTの効果的な活用
- 2 少人数指導（算数科）、合同授業の推進
- 3 特別支援教育と個別指導の充実
- 4 授業連動型の家庭学習の推進
- 5 体験活動の推進（観察・見学等の教科に応じた具体的体験を伴う学習）

【礼儀正しく思いやりの心の育成】

- 1 一人ひとりを大切にする学級経営
 - ・ 称賛する場、居場所、出番づくり等
- 2 豊かな体験活動の推進
 - ・ ボランティア活動、花づくり
- 3 ふるさとを愛する環境・郷土教育推進
 - ・ 地域の「ひと・もの・こと」の活用
- 4 陵南「あそはな」の徹底
- 5 いじめ不登校ゼロをめざす
 - ・ 早期発見、早期解決
- 5 読書指導の充実（年間読書冊数）

【ねばり強い心と体の育成】

- 1 「早寝 早起 朝ご飯」の生活リズム
- 2 「たくましい陵南っ子」の育成
 - ・ 体育での運動量確保
 - ・ なかよし体育の充実
- 3 健康診断結果の活用～虫歯治療推進
- 4 安全・安心の学校づくり
 - ・ 危険予知トレーニングの推進
- 5 「歯と口の健康」の推進
 - ・ 養護教諭とのTT授業実施
- 6 栄養教諭との連携による食育の推進

引き渡し訓練実施！5月8日（土）

不審者出沒により、通常の下校が危険と判断した時の保護者への引き渡し訓練を、1年生児童を対象に行いました。保護者の皆様の迅速な動きからスムーズな流れができました。



今後も大雨、暴風（台風）等により、児童だけでの下校困難の場合があることも予想されます。訓練が生かせるよう御協力ください。

集団宿泊学習 5月19日(水)～20日(木)



5年生が家庭を離れ、県立霧島自然ふれあいセンターで1泊2日の集団生活体験を行いました。例年より早い梅雨入りで、残念ながら屋内での活動が中心になりましたが、それでも自然の中の



野外炊飯やプレイホールでのテント泊等を通して、自主性・協調性を学ぶ良い機会になりました。この経験を学校生活にさらに生かしてくれることを期待しています。

5～6月の行事予定

「5月」

- 25日(火)スケッチ大会
- 26日(水)歯科検診（1・4年）
避難訓練（不審者対応）
- 27日(木)全国学力・学習状況調査（6年）
- 28日(金)プール清掃（5・6年）

「6月」

- 1日(火)PTA登校指導 命の教育の日
- 2日(水)眼科検診（全学年）
- 3日(木)内科検診（2・6年）
- 7日(月)人権週間（～12日）
- 9日(水)歯科検診（3・6年）
- 17日(木)内科検診（1・4年）
- 24日(木)PTA班長会
校区子ども安全推進協議会役員等会